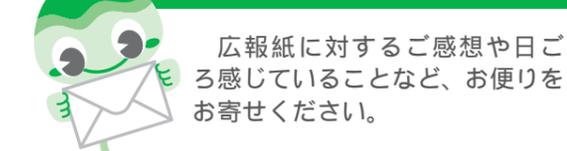




おたよりコーナー



広報させばに対する意見をいくつかご紹介します。

広報させばは、身近な記事が多く市民として親しみがありません。

いろいろな情報があるので「へー」という記事がいくつもありません。

広報係から

本紙は市政情報が主な内容ですが、特集などの取材記事を掲載したり、「市民の広場」を設け広報クイ

ズなどで皆さんからの投稿を募集したりして、皆さんに親しみを持って読んでいただくことができるような編集を心掛けています。今後とも、広報させばのご愛読をよろしく申し上げます。

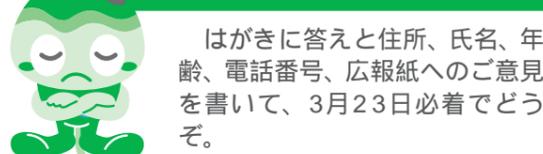
個人的な意見ですが、写真などのほかは有彩色部分を少し減らし、工夫した方がいいと思います。

広報係から

配色については、派手にならないようあまり多くの色を使わないことを心掛けていますが、記事を分かりやすくしようとして多くの色を使ってしまい、かえって見づらくなる場合があるようです。

配色やレイアウト(記事の割り付け)などについて、他市町の広報紙や皆さんのご意見を参考にしながらさらに研究し、見やすい紙面づくりに努めたいと思います。

広報クイズ



問題の 中に文字を入れてください。答えのヒントは、紙面の中にあります。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書券をプレゼントします。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

問題 筋力トレーニングの前後に、準備運動と整理運動として行う筋肉を伸展させる柔軟体操を といいです。

問題 市県民税、国民健康保険税の申告の受け付けは、3月 日までです。

問題 九十九島の景色を楽しむことができる展海峰では、3月下旬ごろから約15万本のが見ごろとなります。

前回の答えは、ピンク 2学期 孔版でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

ご意見有用

市政に対する建設的なご意見を、書面でお寄せください。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を書き、「ご意見有用」担当あてと明記してください。採用分には図書券を差し上げます。



山手小学校6年2組では、社会科の授業で広報させばや市のホームページを見て、市の取り組みについて学習したそうです。その中で「市にお願いしたいこと」として意見がまとめられ、広報させばにお便りがありました。いくつかご紹介します。

「公園のトイレや道路をきれいに」

市から

公園のトイレ掃除は、トイレを利用する人数によって、それぞれの公園で回数を決めて実施しています。しかし、掃除してもすぐに汚れてしまう場合があります。トイレはきれいに使うようご協力をお願いします。

道路(市道)は、交通量が多い幹線道路では定期的に掃除していますが、数が多いためすべての道路を市で掃除することはできません。そのため、市民の皆さんのご協力が必要になります。

市では、空き缶やたばこの吸い殻の投げ捨てなどを防止するため、条例(市のきまり)を作り、各小学校区から選ばれた推進委員のご協力などにより、ごみの散乱防止に取り組んでいます。

「川や森林など自然環境の保護を」

市から

川の汚れの原因は、工場などの排水や家庭から出る生活排水があります。市では、工場などへ定期的な立入り調査を実施し、その結果に基づき指導を行っています。生活排水対策は、合併処理浄化槽(排水をきれいにする装置)の設置に補助金を出したり、家庭でできる生活排水対策を呼び掛けたりしています。

森林などの自然環境を守るため、市では「環境基本計画」や「緑の基本計画」を作り、自然と共に生きるまちを目指しています。

また、絶滅が心配される野生動植物をまとめた「佐世保市レッドデータブック」を作成して、これらの生物が生きていることのできる自然環境を守るよう呼び掛けています。

「ごみの有料化はいいと思います」「ごみの有料化で海や山へのごみの投げ捨てが心配です」

市から

本市で出されるごみは増加し続けていて、これまでどおりのごみ処理の方法は、将来的に難しくなると考えられます。そこで、努力してごみの量を減らす人が増えるよう、排出量に応じて処理費用を負担する「ごみ有料化」について話し合っています。

ごみ有料化が実現すると、ごみが減るとともに、ごみ分別・資源化が進められ、公平なごみ処理費用の負担の仕組みができると考えています。

海や山へのごみの投げ捨て防止には、指導員によるパトロールなどを行うとともに、市民の皆さんへごみ有料化を十分に説明し、理解を得ることができるよう努力します。皆さんのご協力をお願いします。

「ハウステンボスのピーアールを」

市から

市では、ハウステンボスと九十九島を中心に、佐世保の魅力在国内をはじめ韓国や中国など東アジアの人たちに知ってもらうよう取り組んでいます。

佐世保を訪れる人には、佐世保をよく知っている市民の皆さんからの温かいおもてなしや地元の情報が特に喜ばれます。皆さんがハウステンボスや九十九島などの魅力を伝えることで、効果的なピーアールになります。ご協力をお願いします。

「バリアフリーのまちづくりを」

市から

バリアフリーを推進するため、「長崎県福祉のまちづくり条例」が作られました。市では、この条例に基づいてパンフレットを作成するなどして、施設の所有者や管理者、設計者などにバリアフリーの推進を呼び掛けています。

「広報させばや市のホームページは、子どもが見るには少し難しいと思います」

市から

市が作る広報紙やホームページは、市政情報が主な内容であり、行政用語などもあるため、どうしても「お堅い」文章になりがちで、難しく感じるのかもしれませんが、あらためて、できるだけ分かりやすい文章表現を心掛けたいと思います。

広報係から

ご意見ありがとうございました。紙面の都合ですべてをご紹介することはできませんでしたが、今後の市の取り組みへの参考とさせていただきます。